

ころ (前半部)

夏目漱石

内容理解

『ころ』は初め新聞に連載されたもので、読者に次回への期待を抱かせて進んでいく。この文章の前半では、「K」に接する私の揺れ動く心理と行動が、「私」が告白する形で描かれている。本文を読み直しながら、空欄に入る適切な言葉を補ってみよう。

(教科書一〇四ページのあらすじを参照)

◇散歩に誘ったKが、私に批評を求める。

・ 実際の方面には進んでいないKが、私に ² ¹ 独りで進む度胸も ¹ もある、い

・ ³ 人間であるのが恥ずかしいと ³ 退けるのかと問いたです。
・ 相手がお嬢さんでなければ、私は、Kに
・ 悄然とした口調で言い、進むか退くか迷っ
・ 都合のいい返事をしただろう。

美しい同情を持って生まれてきた人間であるはずの私が、その時は違っていた。

(私は、どう違っていたのか、次回へ)

◇私が、Kの恋の行手を塞ごうとする。

・ 開け放しで、不用心なKは、 ⁴ ⁴ 策略から、その時のKと同じ口調で、旅
・ と現実の間に彷徨してふらふらしている。 ⁴ 行中にKが言った言葉を二度言う。
・ 禁欲は無論、道のため全てを ⁵ 「精神的に向上心のない者はばかだ。」と
・ 禁欲は無論、道のため全てを ⁵ いう言葉は単なる利己心の発現だった。
・ 居直ったにしては、声の力が乏しい。 ⁶ 復讐であると同時に、残酷にも、Kの
・ ⁶ の行手を塞ごうとした。

語句

この文章の中で使われていた次の言葉を使って、短文を作ってみよう。
所作 (一〇五・上2)

相応 (二〇七・上10)

萎縮 (二〇九・上15)

矛盾 (二〇九・下3)

Kの目遣いを参考にしたかったが、Kは顔をあげない。
(Kは、私の言葉に打ち倒されたのか、次回へ)

◇私は待ち伏せて、Kに残酷な答えを与える。……………Kの言葉を、卑怯にも待ち伏せた。

・Kは、あまりに⁷で、単純で、善良。↓・Kの善良さを利用し、倒そうとした。

・「覚悟ならないこともない。」と、独り言、↑・Kの「やめてくれ」という言葉に、「やめるだけの⁸がいる。」と言う。

・帰り道、寂しい公園の中、杉の木立が梢を並べてそびえていてるのを振り返って見たとき、寒さが背中へかじりついたような心持ちがした。

◇食事の席で無口なK。(Kが言った「覚悟」の意味は次回へ)

◇Kの黒い影法師の声で目を覚ます。

・Kには投げ出せない尊い⁹があ↓・彼の心を見抜き、恐るるに足りないという自覚を持っていた。

・就寝後、黒い¹⁰のようなK↓・Kの言った「覚悟」の二字が妙な力で私の頭を抑え始める。

昨夜、何か話があったのかと問うと、Kは強い調子で否定。(「覚悟」の解釈は次回へ)

(後半へ)

主題

作品のこの前半部分で作者はどのようなことを描こうとしたと思われるか、次のことに着目して、百字程度でまとめてみよう。
〈着目点…Kの性格を意識した私の策略〉

発展

次の中で興味を持った事項について、図書館の書籍やインターネットなどを使って調べてみよう。

・『こころ』は、大正三(一九一四)年、五か月にわたって新聞に連載され、後に刊行されている。新聞の連載小説とはどのようなもので、ほかにどのような作品があるか。

・『こころ』の「上」と「中」は、全体の構成の上で、どのような意味を持つか。

・漱石と英語との関わりは、どのようなものか。

100

夏目漱石

◇ Kに取るべき態度を考える。

- ・散歩で、Kのことを考えないまま帰宅。
- ・Kに「病気はもういいのか、医者へでも行ったのか。」と聞かれる。

・食事の席で、奥さんが結婚のことをKに話してしまわないか、冷や冷やする。

◇（Kに取るべき態度をどうするか、次回へ）

◇奥さんが、私とお嬢さんとの結婚を、すでにKに告げていたことを知る。

- ・不安なまま、二、三日過ごす。
- ・五、六日たった後、奥さんがKに、二人の結婚を告げていたことを聞く。

◇私は、胸がふさがりような苦しさを覚えた。（Kとの関係をどうするのか、次回へ）

◇ Kの自殺。

- ・明日まで待つと決心した晩、Kは自殺。↑
- ・遺書にお嬢さんの話がないことを確かめ、目につくように机の上に置く。

（教科書二二ページのあらすじを参照）

主題

この作品で作者はどのようなことを描こうとしたと思われるか、次のことに着目して、百字程度でまとめてみよう。 〈着目点…私がKに、お嬢さんとの結婚を告げられない理由〉

7 〇 が復活。Kに謝罪する衝動は、奥に人がいることで食い止められ、私の良心は、永久に復活しなかった。

8 Kに取るべき態度はどうしたものか考え、私は、自分で自分を説明するの嫌になる。

9 Kに知らせなければならぬのに、私が、恋人の信用を失うことができずに進退きわまつてしまう。

10 結婚を聞かされたKの超然とした態度にし、人間として負けたと思う。取り返しがつかないという黒い光が、私の未来を貫いて、全生涯を照らした。私は私を忘れることができなかった。

発展

次の中で興味を持った事項について、図書館の書籍やインターネットなどを使って調べてみよう。

・英文学者であった漱石が、作家となつたのはどうしてか。

・世に知られた遺書や辞世には、どのようなものがあるか。

・乃木殉死事件は、どのような出来事だったか。